



久しぶりの学校はいかがですか。私たちが今までに経験したことのないような3ヶ月でしたね。緊急事態宣言が解除されても、まだまだ油断のできない日々が続いています。こんな時こそ、読書で心に栄養を与えましょう。

令和2年度 第2号 若松原中学校図書室

図書室の利用について

3密を避けるために!

1. 入室前に手の消毒をする。合わせてマスク着用。
 2. 本を選ぶ。(入室時間は5分以内)
 3. カウンターに本を持って行く。(貸出カードは使用しない)
 4. カウンターに本を置き、2歩下がり、自分の学年、クラス、出席番号、氏名を言う。
 5. 貸し出し処理後、本を受け取り、すみやかに退出する
- * 返却した本は書架に戻さず、指定したブックトラックに置く。(後日、司書が書架に戻す。)

課題図書



天使のにもつ いうみく 著 丹下京子 絵

中学2年男子・斗羽風汰が、保育園での職場体験でひとりの男の子と出会い、その子のことを考えながら過ごした5日間の物語。子どもたち一人ひとりが小さな背中に背負う、さまざまな「にもつ」をオレには楽にしていることはできない。でも、今のオレにもできることはある。

11番目の取引 アリッサ・ホリングスワース (著) もりうちすみこ (翻訳)

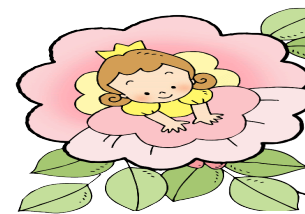
アフガニスタン難民のサミと祖父の生きる術であり、心の拠り所だった伝統楽器、ルバーブが奪われた! 買い戻すには1か月以内に700ドルが必要だ。サミは、友だちの助けを借りて、自分の持ち物で物々交換を始めます。希望と友情の物語。



平和のバトン: 広島の高校生たちが描いた8月6日の記憶

広島平和記念資料館 原爆資料館= 弓狩 匡純 (著)

原爆が投下されてから、75年近くになろうとしています。やがて、被爆者がこの世からいなくなれば、記憶は失われていくでしょう。「このままでは、原爆のことが忘れられてしまう」と、被爆者の声を、そして見た光景を、美術を学ぶ高校生が絵にして記録するプロジェクトがスタートしました。証言者と密に接することで、平和な広島で今を生きる高校生たちが、戦争や原爆を見つめなおす姿は、まさにバトンが手渡された瞬間なのです。



宇都宮市中学校司書の十選

昨年度、市内の中学校司書 25 名が自校のおすすめの本のリストの交換をしました。その中で当校にある本の一部を「おすすめの言葉」と共に紹介します。

「**ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー**」
ブレイディーみかこ 新潮社

島国日本では理解できない多様な価値観があたりまえにあります。

宇都宮市中央卸売市場が舞台になっていて、野菜や流通について学べます。

新着本

「**八百森のエリー**」小鹿リナ 講談社

「**線は、僕を描く**」砥上裕将 講談社

水墨画の世界がこんなに美しいと教えてくれる本

湊かなえさんの青春小説。

「**フロードキャスト**」湊かなえ KADOKAWA

「**こども六法**」山崎聡一郎 弘文堂

見出しから条文に至るまで、子どもに理解できる文章表現で書かれています。

韓流アイドルファンからのリクエスト本。内容はとても共感できるし癒される1冊。

「**私は私のままで生きることにした**」
私・スヨン ワニブックス

「**一切なりゆき**」樹木希林 文藝春秋

横川中で、200件以上の予約が入っている本で、先生方にも好評です。

読みやすく、大学のことを知ることができ、指南書としても良い本です。

「**文系」「理系」に迷ったら読む本**」
竹内薫 PHP

「**14歳からのお金の説明書**」
インフォビジュアル研究所 太田出版

豊かに一生を送るために、十代のうちからお金にシビアに!

本嫌いな人が多いからこそ読んで欲しい本です。

「**読書する人だけがたどり着ける場所**」
齊藤孝 SBクリエイティブ